

# 緑化だより

No.171 令和 3年5月号



ギンリョウソウ

- 季節の花(ホオノキ)
- 昆虫の話(5月のガ)
- 小さな世界こけ(ジンガサゴケ)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

広島県立大学の木々

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>



# 季節の花

## ホオノキ

「わが背子が 捧(ささ)げて持てる ほほがしは  
あたかも似るか 青き蓋 (きぬがさ)」  
僧 恵行 万葉集 卷19-4204

これを訳しますと

(あなた様が日よけにと 持っていて下さるホホガシワの葉は、まるで位の高い人にうしろから差し掛ける絹張の大きな傘で、深い緑色は 一番の高官の人が使用する色の青い蓋 (きぬがさ) みたいですね。)

ホオノキは古代から「ホホガシワ」と呼ばれています。

この歌は750年 越中の国守であった**大伴家持**の邸宅で行われた宴の時、当時の家持は位がまだ低く、傘を使用することさえも許されていませんでした。宴に招かれた**高僧恵行**は、宴の主人である家持の位を持ち上げて歌われています。

ホオノキはモクレン科モクレン属、落葉高木で雌雄同株、別名ホオガシワです。

北海道、本州、四国、九州、中国大陸に自生しています。花は5~6月頃、直径15cm以上の香りのよい白い花が上向きに咲き、新緑の中で目立ちます。葉は枝の先に輪生状に互生してつき、葉身は倒卵形で非常に大きく、長さ40cmにも達します。

葉は、昔から儀式や写経に使われるほか、食べ物をのせたり、包んだりしていました。

今でも飛騨、高山地方では朴の木の葉の上に野菜と味噌をのせた「朴葉味噌」や、葉を筒型に巻いて酒器にも使われています。

広島県山県郡北広島町(芸北町)では、江戸時代から田の神様に五穀豊穡を願うために、田の神様を「三拝(さんばい)」と呼び、田のそばで「花田植えの神事」が行われています。昔は手伝いの人に田植えの間の食事がでました。田んぼの中でも食べられるように、**ホオノキの葉**に包んだ「きな粉むすび」「黒豆入りの塩むすび」「チシャもみ」などがふるまわれて、「サンバイサン」と呼ばれています。これらは郷土料理の代表的な料理で、ホオノキの葉はなくてはならないものです。樹皮は和厚朴といい薬用に、材は緻密で加工しやすく、家具、版木、下駄の歯などに用いられます。(上村)



ホオノキの花

# 昆虫の話

## 5月のガ

桜の開花期も足早に過ぎ、新緑が眩しい季節となりました。

先月はチョウの話でしたが、今月は5月のガ2種を紹介します。チョウも季節ごとに見られる種類が変わりますが、ガは春夏秋冬見られる種類がさらに細かく変化するので、大変興味深いです。

写真左は「オオミズアオ」という大型のガです。幼虫はバラ科やブナ科などの各種樹木の葉を食べ、県内に広く分布します。5月から羽化をはじめ、夏にかけて街灯によく飛来するので、見かけたことのある方も多いのではないのでしょうか。

翅の白色は個体により青味がかかったもの、黄色味がかかったものなど変異があり、後翅に長く優美な尾状突起を持つので、ガが苦手な方でも比較的受け入れやすい容姿かと思われま



オオミズアオ

オナガミズアオ

私、このガの4枚の翅それぞれにある眼状紋が、闇夜を照らす三日月のように見え、とても神秘的に感じます。しかし、当園の緑化研修で子どもたちにこのガの標本を見せたとき、小学生の女子達から「体の毛がモコモコしてウサギのようでかわいい」とか「綿菓子みたい」と言われ、虫愛づる姫君たちの感じ方が全く違うことに驚かされました。

県内には「オオミズアオ」によく似たガで「オナガミズアオ」(写真右)が生息します。「オオミズアオ」とは、翅形、前翅の模様、後翅の眼状紋の形状、触覚の色など多くの違いがありますが、両種とも個体変異が多いので判別には注意が必要です。ハンノキに発生することから、昔は県内の山地に局所的な分布をされると考えられていましたが、植栽されたヤマハンノキにも発生しており、最近、山地よりは瀬戸内沿岸部に比較的普遍的に分布することがわかってきました。保安林台帳を調べていたら、大正時代に指定された保安林の施業要件欄に「無立木地ニハ山ハンノキヲ植栽スベシ」と書かれていました。昔行われた治山事業がこのガの分布域を拡大させたのかもしれない。(相良)

## 小さな世界 こけ

### ジンガサゴケ

桜が散り、日中の気温が高くなり、草も伸び始める季節になりました。まだ草丈も低く、コケも観察しやすい5月初旬、コケの胞子体を探してみましょう。

庭に生えるコケの一つ、ジンガサゴケですが、今の時期かわいい姿が見られます。

タイ類のジンガサゴケは、石垣の隙間や公園の片隅などの湿った土の上に生育します。

幅5mmくらいの葉状体は二又に分かれ、長さ4cmくらいになります。葉の縁は赤紫色を帯びることがあります。

雌雄同株で、別々の枝に雄器托、雌器托をつけます。雄器托は葉状体の先端近くにつき、柄がなく円盤状です。雌器托は、12月頃、葉の上にいぼのような塊りができ、3月頃から托柄が1~3cmに伸び、浅く3~5つに浅く割れた、6mmくらいの陣笠のような雌器床を作ります。4月下旬から5月になると、笠の下に黒くて大きな蒴が顔を出します。

その様子は、昔のSF映画に出てくる火星人の様です。(山根)



ジンガサゴケの若い雌器托



ジンガサゴケの蒴

## 研修会のご案内

- |   |   |
|---|---|
| ○ 5月8日(土) 『春のバードウォッチング』<br>散策路を歩きながら野鳥を観察します<br>※ 自由参加、無料、双眼鏡持参、雨天中止                | 10:00～12:00 学習展示館前 集合<br>講師：日本鳥類保護連盟会員<br>吉見 良一       |
| ○ 5月12日(水) 『春の写真教室～春を写そう～』<br>散策路を歩きながら、植物の撮影について学びます<br>※要予約(先着15名、残りわずか)、無料、カメラ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：二科会会員<br>宗岡 泰昭               |
| ○ 5月14日(金) 『5月の自然探勝』<br>～初夏の溪流路の自然を楽しもう～<br>※自由参加、無料                                | 10:00～12:00 第2駐車場 集合<br>講師：森林インストラクター<br>駄賀 恒男        |
| ○ 5月14日(金) 『シダの学習会』<br>～園内のシダ植物を観察しよう～<br>※自由参加、無料、ルーペ持参                            | 13:30～15:00 学習室 集合<br>コーディネーター：駄賀 恒男                  |
| ○ 5月15日(土) 『第9回ひろしま遊学の森 ことも写生大会』<br>～春の緑化センターを描こう～<br>※ 自由参加、無料、画材(画用紙以外)持参         | 10:00～14:00 学習室 集合<br>講師：元中国新聞社図画教室 指導審査員<br>横山 直江    |
| ○ 5月16日(日) 『三本木山 自然探勝』<br>三本木山山頂をめざしながら植物観察をします<br>※ 自由参加、無料、雨天中止                   | 10:00～12:00 学習展示館前 集合<br>講師：環境カウンセラー・自然観察指導員<br>和田 秀次 |
| ○ 5月19日(水) 『コケと草花の観察会』<br>室内で基本を学び、屋外で観察します<br>※ 自由参加、無料、ルーペ持参                      | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：広島大学名誉教授<br>関 太郎             |
| ○ 5月29日(土) 『庭木の病虫害教室』<br>防除と土づくりについて学びよう<br>※ 自由参加、無料                               | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：樹木医<br>菅 信貴                  |
| ○ 6月1日(火) 『松の手入れ(春)』<br>マツのみどり摘みを実践しよう<br>※ 要予約先着15名、無料、剪定鋏・手鋸持参                    | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：NPO法人 樹木医ひろしま<br>工藤 徹        |

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、  
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。  
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。  
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

### ☆お知らせ・ご案内☆♪

#### 第19回 ひろしま「山の日」県民の集い (レストハウス前広場)

6月6日(日) 10:00～15:00

森の手入れ、ネイチャーゲーム、木の実や枝で自由工作など

#### ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ボード展示)

きのした たいか

木下 泰嘉作品展「花と木の実の木版画」 5月6日(木)～30日(日)

(ガラスケース展示)

陶友会 陶芸作品展

～6月15日(火)



「花と木の実の木版画」より